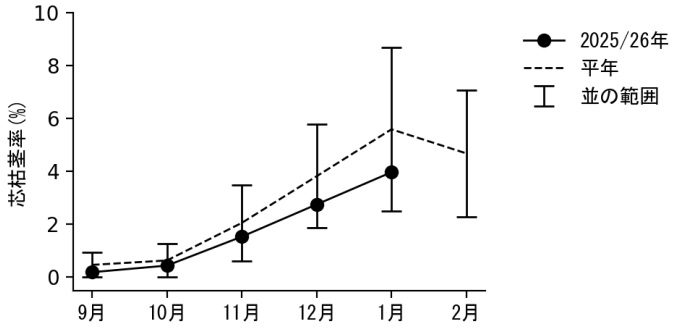
令和　7 年度　　2 月予報

作物	さとうきび		地域	沖縄群島
病害虫名	① メイチュウ類（カンシャシンクイハマキ・イネヨトウ）			
調査結果	1 月の発生量（平年比）	並		
予　報	1 月からの増減傾向	↘		
	2 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↘）		

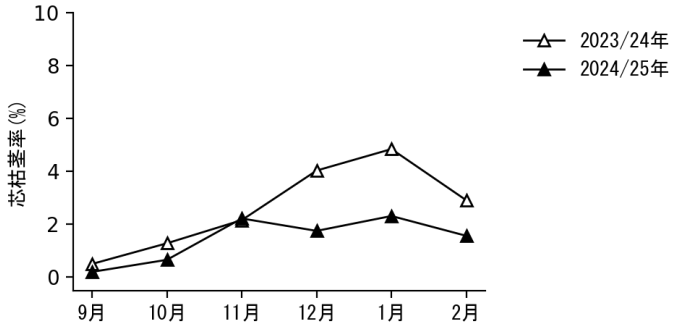
調査結果

芯枯茎率の推移（夏植え）

＜今期と平年＞



＜過去 2 年＞



・発生種：イネヨトウ（61%）、カンシャシンクイハマキ（39%）
・発生ほ場率87.5%（平年：92.6%）
・南大東島：多発生（病害虫防除員報告）

防除のポイント

・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
・加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
・植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。
・茎葉への乳剤等の散布は、葉鞘と茎のすき間に十分な薬液が入るように丁寧に行う。